20190530

事　業　報　告　書

平成 30 年度
自　平成３０年４月　１日
至　平成３１年３月３１日

公益社団法人全国子ども会連合会

東京都文京区大塚 6-1-14 全国子ども会ビル
https://www.kodomo-kai.or.jp

■事業統括

まずは、前年度の不祥事によって失った子ども会への信用を、皆様のお力をもって信頼回復の第一歩を踏み出し、2018 年度の全子連事業が円滑に運営されましたことに厚くお礼申し上げます。

2012 年に安全共済会の発足にあたり文科省との合意事項であった共済事業継続のための会員 420 万人の維持も、毎年全国の子ども会は約 15 万人の会員減少という厳しい状況が続き、現状といたしまして 2018 年度末 335 万人まで減少しました。

このことは、安全共済会（新しい制度共済）へ移行してから、各地の子ども会活性化のために会員の皆様からの支えで支援してまいりました各地区事業支援、各都道府県・指定都市子連への諸支援の見直しはもちろん、安全共済会運営そのものの見直しをせざる負えない危機的状況だということを私たち関係者が意識の共有をし、今年度だけの問題として検討するのではなく、長期的なビジョンを早い段階で具体的に打ち出す必要があります。

しかし、そのような危機的状況の中、今年度も会員の皆様による安全に対する意識の向上、また安全啓発事業の普及、徹底の成果で、共済金の支払いが大幅に減少し、安全共済会自体が健全に運営なされていることは、組織運営の上では明るい材料です。いずれにしましても平成 30 年度としては、前年度の不祥事による信頼の失墜を払拭するために前向きな成果が表れてきたことを明るい未来への第一歩としていきましょう。

以上のことをふまえ、2018 年度の運動方針に沿って総括すると、

1．未来像の策定として、子ども会未来委員会を前年度に設立し、今年度は中央会議・研究大会の分科会で本来もっている子ども会の良さを確認する作業に取り組み、また現在は子ども会基本用語の整理にも取りかかっています。
2．地区活性化の課題として、平成 28 年度に各地区で子ども会推進研究会を立ち上げ、今年度も引き続き各地の子ども会での問題点・課題に積極的に取り組んでいただいております。
3．シニア・リーダーの養成の課題として、今年度シニア・リーダー研修会を全子連ユースが運営いたしました。自らが地域を担っていくべきリーダーに成長していくための研修を行い、各地の問題点を共有しました。
4．事務局活性化と寄付金の拡大として、安全共済会の新システム導入を進め、事務担当者の負担軽減につとめ、本来の子ども会運営の安定を図ってきました。また寄付金を広く募っていくため、ソフトバンクのつながる募金を開始しました。

育成者・指導者の後継者問題、人口の自然減少以上の加速的な会員の減少、本来の子ども会の活動基盤である単位子ども会の存続、地域の子ども会に位置づくジュニア・リーダー、シニア・リーダーの養成、事務局の負担軽減など、子ども会の未来に様々な問題を抱えてはいますが、今まで以上にこれらの取組みを丁寧に継続発展させていくことで、地域において充実した子ども会活動を継続できることを確信しております。

■組織の状況

Ⅰ　組織の状況

１　平成３０年度の会員状況

正会員：５９（４６都道府県＋１３政令指定都市）

２　役員に関する事項

（１）　当該年度末時点で在籍している役員

氏名(県・市)	役職	担当	就任年月日	任期満了	重要な兼職の状況
河本 功 (静岡県)	会長		平成３０年 ５月３０日	※	
野瀬 武敬 (名古屋市)	副会長	事業	平成３０年 ５月３０日	※	
佐々木 正市 (秋田県)	副会長	指導者育成	平成３０年 ５月３０日	※	
美田 耕一郎 (鳥取県)	副会長	共済事業	平成３０年 ５月３０日	※	
大鹿 良夫 (埼玉県)	理事		平成３０年 ５月３０日	※	
内藤 進 (栃木県)	理事		平成３０年 １月２４日	※	
市川 賀三 (愛知県)	理事		平成３０年 ５月３０日	※	
山﨑 暢子 (福井県)	理事		平成３０年 ５月３０日	※	
安部 侃 (滋賀県)	理事		平成３０年 ５月３０日	※	
小手川 和彦 (大分県)	理事		平成３０年 ５月３０日	※	
長 秋美 (宮崎県)	理事		平成３０年 ５月３０日	※	
中山 良明 (大阪市)	理事		平成３０年 ５月３０日	※	
新田 新一郎 (学識経験)	理事		平成３０年 ５月３０日	※	
河村 隆 (学識経験)	理事		平成３０年 ５月３０日	※	
山本 哲哉 (学識経験)	常務理事		平成３０年 ５月３０日	※	
中山 ひろみ (大阪府)	監事		平成３０年 ５月３０日	※	
丸山 康昭 (熊本県)	監事		平成３０年 ５月３０日	※	

※任期満了は、2021 年度定時総会の終結の時。

（２）　平成３０年度中に退任した役員

氏名（県・市）	役職	担当	就任年月日	退任の理由
小林 幸男 （岐阜県）	理事		平成２８年５月３０日 ～平成３０年５月２８日	県代表者辞任のため
正木 明 （石川県）	理事		平成２８年５月３０日 ～平成３０年５月３０日	任期満了のため
池田 龍男 （福岡県）	理事		平成２８年５月３０日 ～平成３０年５月３０日	任期満了のため
丸山 康昭 （熊本県）	理事		平成２８年５月３０日 ～平成３０年５月３０日	任期満了のため
成田 國英 （学識経験）	理事		平成２８年５月３０日 ～平成３０年５月３０日	任期満了のため
吉嵜 三義 （学識経験）	理事		平成２８年５月３０日 ～平成３０年５月３０日	任期満了のため
梅本 寛人 （学識経験）	監事		平成２８年５月３０日 ～平成３０年５月３０日	任期満了のため

Ⅱ　都道府県・指定都市子連の状況

１　代表者の交代による新規会員

県・市	新代表者	旧代表者	異動年月日	備考
相模原市	菅野 泰男	藤田 清	平成３０年４月２日	
島根県	小谷 徹	磯田 謙一	平成３０年４月２４日	
岐阜県	伊藤 和男	小林 幸男	平成３０年５月２８日	
福岡県	原田 正文	池田 龍男	平成３０年６月３日	
札幌市	田中 昭夫	佐藤 欣一	平成３０年６月２４日	

２　会員都道府県・指定都市子ども会連合組織

別紙１　参照

■事業報告

Ⅰ　公１事業（連合会事業）

１　指導者及び育成者相互の連携事業

（１）地区子ども会推進研究会

ア）日　　程：下記日程で開催した。

イ）内　　容：子ども会発展のため指導者、育成者の協議の場として地区の子ども会活動の振興に資するため開催した。

ウ）負 担 金：平成２９年度の共済会加入人数×1 円を限度に運営費の一部を全子連が負担した。

地区	担当県	開催日・会場
北海道地区	北海道子連	①５月１２日（日）かでる２・７　９階　当会会議室 ②７月１２日（木）かでる２・７　９階　当会会議室 ③２月１９日（火）かでる２・７　９階　当会会議室
東北地区	秋田県子連	①９月２４日（日）　仙台市生涯学習支援センター ②１１月１０日（土）天童温泉　ほほえみの宿　滝の湯 ③２月９日（土）宮城野区中央市民センター
関東甲信越静地区	神奈川県子連	①６月９日～６月１０日　（土・日）全子連ビル ②９月１５日～９月１６日（土・日）全子連ビル
東京	東京都子連	①２月２１日（木）　全子連ビル
東海北陸地区	愛知県子連	①６月２２日（金）　愛知県社会福祉会館 ②９月１８日（火）　愛知県社会福祉会館 ③１１月２２日（木）　愛知県社会福祉会館
近畿地区	和歌山県子連	①７月２６日（木）　奈良県社会福祉センター ②１月２１日（土）　湯浅温泉湯浅状城
中国四国地区	鳥取県子連	①９月２９日（土）　きらめきプラザ（岡山県） ②３月２３日（土）　きらめきプラザ（岡山県）
九州沖縄地区	熊本県子連	①７月２８日（土）　ホテル熊本テルサ ②３月１６日（土）　ホテル熊本テルサ
指定都市地区	名古屋市子連	①１１月２３日（金）名古屋市中区役所

（2）子ども会未来委員会

地　区	氏　　名	所　属	地　区	氏　　名	所　属
北海道	木村　謙治	北海道	近　畿	小川　佳映	大阪府
東　北	高橋　昌樹	青森県	近　畿	浅見　真一	兵庫県
東　北	野崎　一	秋田県	中国四国	安倍　悟	鳥取県
関東甲信越静	矢後　紀夫	栃木県	中国四国	山下　昌彦	山口県
関東甲信越静	関根　雅治	埼玉県	九　州	井立　伸一	熊本県
関東甲信越静	大作　公明	長野県	九　州	青矢　順子	鹿児島県
東京都	該当者なし	東 京 都	指定都市	木戸　秀典	名古屋市
東海北陸	清水　保夫	富山県	指定都市	藤田　悟	横浜市
東海北陸	福井　靖	愛知県			

ア）日　　程：下記日程で開催した。

イ）内　　容：全国的な視点で、子ども会の今後の在り方等を検討し、将来に亘り子ども会の発展に寄与するため協議した。

①第１回子ども会未来委員会

平成 30 年 6 月 23 日（土）～24 日（日）　　全子連ビル 2・1F 会議室

グループワークを中心に次の内容で検討する。

・平成 29 年度未来委員会報告

・目的（理念）について確認

・中央会議の部会について（全体）

・平成 30 年度未来委員会のイメージづくり（全体会議）

②第２回子ども会未来委員会

平成 30 年 9 月 1 日（土）～9 月 2 日（日）　　全子連ビル 2 階会議室

グループワークを中心に次の内容で検討する。

・平成 30 年度未来委員会について
　用語の整理について等

・平成 30 年度以降未来委員会のイメージづくり（全体会議）

③第３回子ども会未来委員会

平成 30 年 12 月 16 日（土）～12 月 17 日（日）　　全子連ビル 2 階会議室

グループワークを中心に次の内容で検討する。

・用語の定義についてグループごとに進捗状況報告

・これからの子ども会について

・用語定義の整理他

④第４回子ども会未来委員会

平成 31 年２月 24 日（土）　ホテル金沢　（第 52 回中央会議・研究大会　第６分科会）

・「きかせてあなたのまちの子ども会」をテーマに皆さんの子ども会活動での成功事例を持ち寄り、発表を通じて自分たちの活動に活かす。

（３）第５１回全国子ども会育成中央会議・研究大会

ア）日　　程：平成 30 年７月 14 日（土）～15 日（日）

イ）会　　場：ローズコートホテル（名古屋市中区大須 4-9-60）・中区役所会議室

ウ）参 加 者：３８９名

エ）参 加 費：３，０００円（情報交換会費、宿泊旅費は参加者負担）

オ）事 業 内 容：

＜１日目（１４日）＞

・　開会式
・　表彰式
・　記念講演①　「自然から学ぶ　自ら気づき考える力」環境省カウンセラー　篠田陽作氏
・　記念講演②　「色の魔法で幸せがやってくる」　美しい生き方研究科　永谷公美英氏
・　受賞者記念撮影
・　アトラクション　ＭＮＣｏｒｐｓ
・　受賞者を囲む会・情報交換会（ローズコートホテル）

＜２日目（１５日）＞中区役所会議室

・　第１部会　子ども会の目的（理念）に基づいた「子ども会活動」と「連合組織の在り方」について
・　第２部会　これからの子ども会の中でのシニア・リーダーの役割
・　第３部会　ＪＬ指導育成と地区ＪＬ研修大会の運営について
・　部会発表
・　閉会式

＜３日目（１６日）＞

・　視察研修

レゴランドジャパン・名古屋城・あいち航空ミュージアムなど

（４）第５２回（平成３０年度）全国子ども会育成中央会議・研究大会

ア）日　　程：平成 31 年２月 23 日（土）～25 日（月）

イ）会　　場：石川県立音楽堂コンサートホール（全体会）ホテル金沢（分科会）

ウ）参 加 者：６５７名

エ）参 加 費：３，０００円（情報交換会費、宿泊旅費は参加者負担）

オ）事 業 内 容：

＜１日目（２３日）＞

・　パイプオルガン演奏

・　子ども芸能発表（子ども梯子のぼり、子ども素囃子）
・　開会式
・　表彰式
・　記念講演①　「これからの出来事、それよりもこれから」　本谷有希子氏
・　受賞者記念撮影
・　受賞者を囲む会・情報交換会（ホテル金沢）

＜２日目（２４日）＞

・　分科会（ホテル金沢）

第１分科会　「子ども会加入率の向上を目指して」
第２分科会　「育成者・指導者のスキルアップを目指して」
第３分科会　「行政との緊密な連携を目指して」
第４分科会　「シニア・リーダーの育成を目指して」
第５分科会　「これからの子ども会に、シニア・リーダーはどう必要なのか」
第６分科会　「きかせて！あなたのまちの子ども会」
第７分科会　「会長会議」

・　分科会発表（音楽堂）
・　記念講演②　「教育改革と社会が求める人材」　大島淳光氏
・　閉会式

＜３日目（２５日）＞

・　視察研修

金沢金箔体験や加賀、五箇山など

（５）地区子ども会育成研究協議会

ア）日　　程：地区会長会議において内容を検討し、子ども会発展のため指導者、育成者の情報交換、協議の場として子ども会活動の振興に資するため開催した。

イ）内　　容：開会式、表彰式、記念講演、情報交換会、分科会、全大会、閉会式等

ウ）負 担 金：平成２９年度の共済会加入人数×４円を限度に運営費として実費を全子連が負担した。

地　区	担当県	開催月日	会　場	参加者数
（北海道）	北海道	10/6（土）～7（日）	釧路町公民館	９０名
東　　北	山形県	11/10（土）～11（日）	天童温泉 ほほえみの宿 滝の湯	２１０名
関東甲信越静	栃木県	9/30（日）～10/1（月）	ロイヤルホテル 那須	３４７名

（東京都）	東京都	10月28日（日）	かつしかシンフォニーヒルズ別館	１９４名
東海・北陸	愛知県	10/27（土）～28（日）	名古屋ガーデンパレスホテル	２９２名
中国・四国	香川県	11/10（土）～11（日）	観音寺市民会館	６７３名
近　　畿	奈良県	12/1（土）～2日（日）	橿原ロイヤルホテル・奈良県社会教育センター	４６６名
九　　州	大分県	10/27（土）～28（日）	別府市公会堂	３７３名
指定都市	名古屋市	11/23（土）～24（日）	名古屋市中区役所・名古屋東急ホテル	４５２名
合　計				３，０９７名

（６）子ども会応援団の組織化

情報収集に留まりましたが、2019年度には名簿の作成までできるように企画する。

２　子ども会活動の指導及び育成事業

（１）シニア・リーダー（青年リーダー）の子ども会活動への積極的参加

①シニア・リーダーの組織化と活動推進

「子どもの手による子ども会」推進役、ジュニア・リーダーの育成者、地域の街づくりの担い手、将来育成者・指導者として子ども会の発展に尽力すべく、次のような活動をした。

〇平成３０年度全子連ユース会員の推薦状況

４月２３日全国へ依頼文書を発信、前年度からの継続、辞退、推薦を含め計５２名。

〇平成３０年度全子連ユース運営会議

ア）日程：平成３０年６月１６日（土）～１７日（日）

イ）場所：国立オリンピック記念青少年総合センター　センター棟４０１室

ウ）参加者：３４名　全子連理事５名　事務局２名

エ）参加費：旅費交通費　宿泊費（オリセン）全子連負担

情報交換会費２０００円各自負担

オ）実施した主な内容

＜１日目（１６日）＞

全子連ユース運営会議①

主催者挨拶　　全国子ども会連合会　　河本会長/佐々木副会長
開催趣旨説明　　全国子ども会連合会　　河本会長
執行部選任　執行部自己紹介　活動の内容説明
全子連ユース運営会議②
部会役割説明　役割分担　自己紹介　副部長選出　議題について協議

＜２日目（１７日）＞
部会協議
部会報告会
総評挨拶　全子連ユース代表
総評挨拶　新田理事
総評挨拶　美田副会長　佐々木副会長

②シニア・リーダー研修会

ア）日程：平成３０年９月２２日～２３日
イ）場所：国立オリンピック記念青少年総合センター
ウ）参加者：６４名　オブザーバー３名　講師１名　全子連理事１０名　事務局２名
エ）参加費：5,000 円
旅費交通費　往復の交通費が実費で 2 万円を超える場合に、２万円超の金額を助成
＜１日目（２２日）＞
挨拶　河本会長　佐々木副会長
講義①全国ＳＬ研修の変遷と今年度研修の趣旨説明および質疑
講義②子どもと会議とファシリテーター
講義③ジュニア・リーダーのポテンシャルを引き出した研修会についての事例発表
～プロジェクト・アドベンチャーからヒントを得て～
＜２日目（２３日）＞
講義④選択制講義
Ａ　様々な個性を持つ子どもたちとの関わり方について
Ｂ　人を惹きつけるプレゼンテーション
総評
閉会式
挨拶　河本会長　佐々木副会長

（２）ジュニア・リーダーの指導・育成

①ジュニア・リーダーの在り方及び組織化の研究と推進

30 年度に地区子ども会推進研究会並びに全子連ユースの運営の中で具体的な方策を研究した。

②地区子ども会ジュニア・リーダー研修大会

ア）目　的　：研修、情報交換等を行うことにより、資質の向上を図る。

イ）内　容　：青少年の自立支援を組み入れ、地域活動への参画を促す。

ウ）負 担 金：平成２９年度の共済会加入人数×1.5円を限度に運営費として実費を全子連が負担した。

地区	担当県	開催月日	会場	参加者数
北海道	北海道	８月９日～１２日（木～日）	国立大雪青少年交流の家	１５４名
東北	青森県	８月１０日～１２日（金～日）	むつ市下北自然の家	１５３名
関東甲信越静	茨城県	８月１０日～１２日（金～日）	水戸市少年自然の家	１３０名
東京都	東京都	５月３日～６日（木～日）	桧原山荘	４３名
東海北陸	富山県	８月３日～５日（金～日）	国立立山青少年自然の家	７５名
近畿	奈良県	１２月１日～２日（土～日）	橿原ロイヤルホテル・奈良県社会教育センター	４６６名
中国・四国	岡山市	８月１７日～１９日（金～日）	岡山市立少年自然の家	１２８名
九州	福岡県	８月１７日～１９日（金～日）	福岡県立社会教育総合センター	２９０名
指定都市	相模原市	８月３日～５日（金～日）	相模原ビレッジ若あゆ	１４３名
合　　計				１，５８２名

（３）全国子ども会連合会表彰

・7月　子ども会、ジュニア・リーダー組織の表彰

・H31年2月　指導者・育成者、指導者組織・育成組織、奨励賞、全国子ども会を退任された代表者への表彰を実施

表 彰 区 分	団体数・個人数
単位子ども会組織（団体）	１１団体
ジュニア・リーダー組織（団体）	６団体
シニア・リーダー組織（団体）	１団体
指導者・育成者（個人）	１２２名
指導者組織及び育成組織（団体）	１０団体
奨励賞（団体）	４団体
全国子ども会を退任された代表者	１名

３　講習認定登録事業

（１）　講習認定事業について

引き続き検討課題として継続する。

（２）ジュニア・リーダー講習認定事業

初級		中級		上級	
東　京　都	１０名	埼　玉　県	２２名	札　幌　市	１８名
川　崎　市	１７名	千　葉　県	４１名	青　森　県	２名
愛　知　県	２４名	東　京　都	８名	秋　田　県	１名
高　知　県	８名	愛　知　県	９名	埼　玉　県	１３名
北九州市	３名	沖　縄　県	３２名	千　葉　県	１５名
沖　縄　県	４名	北九州市	１名	沖　縄　県	５名
合　　計	８８名	合　　計	１１３名	合　計	５４名

４　資料の刊行情報提供事業

（１）ホームページの充実とインターネットの活用

全国子ども会連合会のホームページの充実を図るとともに、県・市子連のホームページ作成を無料で支援。２５年度は群馬県、宮城県、茨城県、新潟県、神奈川県、大阪市、神戸市、岡山県、宮崎県に引き続き、２６年度は熊本市、東京都、長崎県、三重県、高知県、札幌市、福岡市、奈良県、２７年度は、埼玉県、鳥取県、福井県、北九州市、長野県、岩手県を作成、２８年度は兵庫県、愛媛県、静岡県、２９年度は徳島県、栃木県、３０年度は山口県と千葉県のホームページを作成し、合計３０県・市子連のホームページを作成。

各県・市子連から作成の相談や、作成したホームページの更新依頼を受けている。

（２）情報収集・提供

共済事業についてのデータを提供した。

各都道府県・指定都市子連の加入状況のデータをハンマーヘッドでデータベース化する。

５　企業団体等連携事業

（１）子ども会推奨マーク制度

子どもたちの健全な育成に寄与する商品・サービスとして、全国子ども会連合会が認定

継続申請　１１件・新規申請２件　契約終了３件

商品・サービス名	申請者	商品・サービス内容	備考
リポビタンDキッズ	大正製薬株式会社	子どもの成長に必要な、タウリン・カルシウム配合のリポビタンD	継続
Mamorinoシリーズ	ＫＤＤＩ株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
みまもりケータイ	ソフトバンクモバイル株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続

キッズケータイ	株式会社ＮＴＴドコモ	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
Miraieシリーズ	ＫＤＤＩ株式会社	子ども用に機能制限をした携帯電話	継続
ビオサージュ アウトドア ビオ ミスト	カラーズ株式会社	虫が嫌がる天然精油のアロマで子どもの肌をやさしく守る、アウトドアボディミスト	継続
ＴＯＮＥ m15	トーンモバイル株式会社	利用時間や利用機能をコントロールできることで、子どものニーズにも応えつつ保護者の不安を解消した子供用スマートフォン	継続
ＬＥＤシーリング 【まなびのあかり】	日立アプライアンス 株式会社	文字が見やすく色鮮やかに見えるあかりで、学びの環境を整えるLEDシーリング	継続
メルスプラン	株式会社メニコン	コンタクトレンズ	継続
キッズパック	ソースネクスト株式会社	スマホ学習アプリ、居場所の確認、使用時間を管理できるアプリ	継続
はみっくベア	Hamee㈱	子どもが家でひとりでいてもスマホを使わず沢山の人と話ができるクマ型メッセージロボット	継続
ウィルスバスター モバイルシリーズ	トレンドマイクロ株式会社	スマートフォン用ウィルスアプリ	新規
ルームエアコン 白くまくん Wシリーズ	日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社	子ども部屋向けルームエアコン	新規
マモリーノ ウォッチ	ＫＤＤＩ株式会社	子ども用に機能制限をした通話もできる防水対応キッズウォッチ	後継機種へスライドするため契約終了
スマモリ	Jiransoft　Japan	スマホ使用時間、使用アプリの制限ができるアプリ	契約終了
Wonder　Post	インベンションボックス	不特定者ではなく対面登録でつながるメッセージアプリ。	契約終了

（２）サンプリング、企業サポーターについては実績がないが、引き続き推進する。

６　助成金事業

（１）子どもゆめ基金事業（独立行政法人国立青少年教育振興機構）

スポーツの練習・競技中の「ケガ防止対策」指導者養成講習会

子どもの体験活動におけるケガ防止対策を確立する為には、「メンタル」と「フィジカル」の両面からのアプローチが欠かせないが、後者は、正しく意図的に組み込まれにくいようである。本事業では、その部分を集中的な講義と実習により参加者に習得してもらう事を目的とする。内容は、科学的な根拠と最新の情報に基づく、現場で指導にあたる誰もが実行出来得る最も重要な項目とし、その普及にあたる、より多くの指導者を養成する。

上記の目的を果たすため、ゆめ基金に申請した計画どおり、全国９会場で開催し、延べ３１４名が受講、修了証を授与した。

会場名	共催団体	開催期日	受講者数
松阪市	三重県子ども会連合会	平成３０年７月１日	６２名

	松阪市子ども会連合会		
【台風接近のため中止】 熊本市	九州地区子ども会育成連絡協議会 熊本県子ども会連合会 熊本市子ども会育成協議会	平成３０年９月３０日	０名
札幌市	公益社団法人札幌市子ども会育成連合会	平成３０年１０月６日	３９名
岡山県	中国･四国地区子ども会連絡協議会 岡山県子ども会連合会	平成３０年１０月７日	４１名
横手市	東北地区子ども会育成連絡協議会 秋田県子ども会育成連合会 横手市子ども会育成連合会	平成３０年１２月９日	２７名
熊本市	九州地区子ども会育成連絡協議会 熊本県子ども会連合会 熊本市子ども会育成協議会	平成３０年１２月２３日	２８名
松山市	中国・四国地区子ども会連絡協議会 松山市子ども会連合会	平成３１年１月２７日	２８名
愛知県	愛知県子ども会連絡協議会	平成３１年２月９日	３８名
栃木県	関東甲信越静地区子ども会育成連絡協議会 一般社団法人栃木県子ども会連合会	平成３１年２月１０日	２９名
羽村市	特定非営利活動法人東京都子ども会連合会 羽村市子ども会連合会	平成３１年３月１７日	２２名
合　　計	９会場		３１４名

（２）公募寄付金の募集

※平成 30 年 7 月の西日本豪雨被害をうけて、緊急寄付金を募集し終了

名称：平成 30 年 7 月西日本豪雨被害緊急寄附金

目的：平成 30 年 7 月西日本豪雨災害支援

期間：平成 30 年 7 月 12 日～平成 30 年 9 月 30 日

寄付金の送金先：岡山県、広島県に中四国地区子連事務局を通じて送金

寄付金額： 5,515,872 円

※平成 30 年 9 月北海道胆振東部地震被害をうけて、緊急寄付金を募集し終了

名称：平成 30 年 9 月北海道胆振東部地震寄附金

目的：平成 30 年 9 月北海道胆振東部地震支援

期間：平成 30 年 9 月 18 日～平成 30 年 11 月 30 日

寄付金の送金先：特に被害の大きかった安平町、厚真町、むかわ町、日高町、平取町に北海道子連を通じて送金

寄付金額： 3,290,000 円

7　賠償責任保険 保険金請求状況(2019.3.31 現在)

（１）平成 30 年度発生事故（報告件数、支払状況）

① 対人事故報告件数＝4 件

・ 支払済件数　　3 件　　33,620 円

・ 支払対象外・請求放棄　　1 件

② 対物事故報告件数＝177 件

・ 支払済　　116 件　　3,049,889 円

・ 手続き中　　40 件

・ 支払対象外・請求放棄　　21 件

（２） **平成 29 年度以前発生事故**（2018 年度支払状況）

① 対人事故報告件数=0 件

② 対物事故=40 件

・ 支払済　　35 件　　1,315,704 円

・ 手続き中　　3 件

・ 支払対象外・請求放棄　　2 件

8　物販事業

（1）売上金額（平成３０年４月１日～平成３１年３月３１日）

４，４８４，０３６円

9　共済事業

（1）加入状況　　（単位:名）

幼児	小学生	中学生	高校生	育成者・指導者	計
152, 929 名	1, 989, 488 名	222, 924 名	18, 203 名	972, 916 名	3, 356, 460 名

（2）共済金支払状況

①平成 28 年度の事故

支 払 済 み	件 数（件）	金 額 （ 円 ）	内　　訳
死　　亡	0	0	
後 遺 障 害	0	0	
疾 病 ・ 傷 害	8	102, 381	入院・通院に関する給付
計	8	102, 381	

②平成 29 年度の事故

支 払 済 み	件 数（件）	金 額 （ 円 ）	内　　訳
死　　亡	1	6, 000, 000	子ども 1 名
後 遺 障 害	6	3, 417, 795	子ども 2 名、大人 4 名
疾 病 ・ 傷 害	657	18, 124, 964	入院・通院に関する給付
計	664	27, 542, 759	

③平成 30 年度の事故

支 払 済 み	件 数（件）	金 額 （ 円 ）	内　　訳
死　　亡	0	0	
後 遺 障 害	6	1,907,608	子ども３名、大人３名
疾 病 ・ 傷 害	2,289	28,488,931	入院・通院に関する給付
計	2,295	30,396,539	

④合計

支 払 済 み	件 数（件）	金 額 （ 円 ）	内　　訳
死　　亡	1	6,000,000	子ども１名
後 遺 障 害	12	5,325,403	子ども５名、大人７名
疾 病 ・ 傷 害	2,954	46,716,276	入院・通院に関する給付
合　　計	2,967	58,041,679	

（３）立入検査について

平成３０年９月２６日～９月２８日

指摘事項等詳細は別紙２のとおり

（４）業務委託について

59 の県・市子ども会連合組織と共済事業について、業務委託契約を締結し、事務委託費として、33,556,590 円を支出。

（５）準備金等の積立について

①責任準備金について

純掛金×　50　÷　1000　＝　3,845,434 円

平成 30 年度共済純掛金の総額　＝　76,910,460 円（ａ＋ｂ）

ａ　23 円　×3,327,648 人（加入者数）＝　76,535,904　円（前期 4 月～9 月加入）

ｂ　13 円　×　28,812 人（加入者数）＝　374,556

円（後期 10 月～3 月加入）

②普通支払備金について

29 年度分　145,158 円

30 年度分　3,214,109 円

合　　計　3,359,267 円

③ＩＢＮＲ備金の算出方法

平成 22 年 12 月 27 日付文部科学省告示第百七十五号により告示された定義による。

19,074,027 円

④準備金について

ｃ　共済事業経常収益計　186,000,911　円

ｄ　〃　経常費用計　181,469,325　円（準備金以外）

剰余金の一部を準備金とする

ｃ－ｄ＝4,531,586　円のうち 906,318 円を準備金として計上した。

準備金の今期増加分については、現預金の残額の関係で 6 月に積立資産に計上する。

（６）共済会計における財産及び損益の状況

①財産の状況　（単位:円）

項　目	平成 31 年 3 月 31 日現在	平成 30 年 3 月 31 日現在
流動資産	34,036,744	44,717,643
固定資産	200,176,375	177,914,126
資産合計	234,213,119	222,631,769
負債合計	199,703,903	191,747,821
正味財産	34,509,216	30,883,948
準備金	135,582,447	130,582,447

② 損益の状況　（単位:円）

項　目	平成 30 年 3 月 31 日現在	平成 29 年 3 月 31 日現在
当期収入	186,000,911	195,909,081
当期支出額	182,375,643	179,637,563
事業費	182,375,643	179,637,563
うち共済金	58,041,679	57,809,799
経常外費用	0	0
当期収支差額	3,625,268	16,271,518

（７）　安全普及啓発活動

・子ども会安全啓発指導者養成講習会を本格的に全国で展開し、指導者養成を推進することで安全教育を進めた。

・「安全啓発」「防災」「交通安全」「スポーツ競技の練習や大会での事故防止」に重点を置き、事故減少に向け県・子市子連、単位子ども会の安全教育の充実を進めた。

・スポーツ活動中の事故対策として、事故防止マニュアルの指導本を作成し、専門家によるセミナーを全国 9 か所で開催した。

①子ども会安全啓発初級・中級・上級指導者認定事業

県・市	初級	中級	上級
北　海　道	１８名	０名	０名
札　幌　市	０名	０名	０名
青　森　県	０名	０名	０名
岩　手　県	７名	４名	０名
宮　城　県	１８名	２名	０名
仙　台　市	０名	０名	０名
秋　田　県	０名	０名	０名
山　形　県	７名	０名	０名
福　島　県	１５名	０名	０名
茨　城　県	７名	３名	０名
栃　木　県	１０名	０名	０名
群　馬　県	５１名	０名	０名
埼　玉　県	０名	０名	０名

千　葉　県	５名	２名	０名
東　京　都	２名	０名	０名
神 奈 川 県	０名	０名	０名
横　浜　市	０名	０名	０名
川　崎　市	０名	０名	０名
相 模 原 市	０名	０名	０名
新　潟　県	６名	１名	０名
富　山　県	０名	０名	０名
石　川　県	１１名	０名	０名
福　井　県	２名	０名	０名
山　梨　県	０名	０名	０名
長　野　県	１名	０名	０名
岐　阜　県	４７名	０名	０名
静　岡　県	４名	６名	０名
愛　知　県	３１名	０名	０名
名 古 屋 市	０名	０名	０名
三　重　県	０名	２名	０名
滋　賀　県	０名	０名	０名
大　阪　府	０名	０名	０名
大　阪　市	０名	０名	０名
兵　庫　県	６９名	０名	０名
神　戸　市	０名	０名	０名
奈　良　県	０名	０名	０名
和 歌 山 県	０名	０名	０名
鳥　取　県	０名	０名	０名
島　根　県	６名	０名	０名
岡　山　県	０名	２名	０名
岡　山　市	０名	０名	０名
広　島　県	０名	０名	０名
広　島　市	０名	０名	０名
山　口　県	０名	０名	０名
徳　島　県	０名	０名	０名
香　川　県	０名	０名	０名
愛　媛　県	０名	０名	０名
高　知　県	６名	１名	０名
福　岡　県	５名	１名	０名
北 九 州 市	０名	０名	０名
福　岡　市	０名	０名	０名
佐　賀　県	１６名	０名	０名
長　崎　県	１４名	４名	０名
熊　本　県	０名	０名	０名
熊　本　市	０名	０名	０名
大　分　県	０名	０名	０名
宮　崎　県	１０名	０名	０名
鹿 児 島 県	６０名	２名	０名

沖　縄　県	０名	０名	０名
合　　計	４２８名	３０名	０名

②子ども会安全啓発初級指導者養成講習会

地　区	開催県・市	開催期日	参加者数
北海道・東北	北海道	８月１１日～８月１２日（土・日）	９名
	北海道	１１月１７日～１８日（土・日）	１２名
北海道・東北	岩手県	１０月２７日（土）	７名
北海道・東北	宮城県	６月９日（土）	１９名
北海道・東北	山形県	６月２４日（日）	８名
北海道・東北	福島県	６月３０日（土）	１５名
関東甲信越静	茨城県	６月３日（日）	１０名
関東甲信越静	栃木県	６月２４日（日）	２１名
関東甲信越静	群馬県	５月１３日（日）	５４名
関東甲信越静	埼玉県	５月２７日（日）	２０名
関東甲信越静	千葉県	７月１日（日）	７名
関東甲信越静	東京都	６月２４日（日）	１２名
関東甲信越静	神奈川県	６月２４日（日）	２６名
関東甲信越静	新潟県	７月８日（日）	１４名
関東甲信越静	静岡県	７月１日（日）	１０名
関東甲信越静	長野県	１２月８日（土）	１８名
関東甲信越静	長野県	６月３０日（土）	２５名
東 海 北 陸	石川県	１２月２日（日）	１１名
東 海 北 陸	福井県	９月２日（日）	６名
東 海 北 陸	岐阜県	１月１９日（土）	５４名
東 海 北 陸	愛知県	１２月８日（土）	３１名
近　　畿	兵庫県	４月２８日（土）	３１名
近　　畿	兵庫県	２月２日（土）	１０名
近　　畿	兵庫県	１月２６日（土）	２２名
近　　畿	兵庫県	１月１９日（土）	１３名
中国・四国	鳥取県	７月７日（土）	２名
中国・四国	島根県	１２月２２日（土）	６名
中国・四国	徳島県	６月２３日（土）	１２名
中国・四国	高知県	７月２２日（日）	７名
九　　州	福岡県	６月２３日（土）	１８名
九　　州	佐賀県	７月８日（日）	１８名
九　　州	長崎県	６月１６日（土）	１３名
九　　州	鹿児島県	７月１４日（土）	６２名
九　　州	沖縄県	６月１０日（日）	５２名
合　　計			６５５名

③子ども会安全啓発中級指導者養成講習会

地　区	開催県・市	開催期日（土・日）	参加者数
東北・北海道	宮城県	１０月１３日～１０月１４日	７名
関東甲信越静	栃木県	１月１９日～１月２０日	２０名
東海・北陸	愛知県	１月２６日～１月２７日	１７名
中国・四国	岡山県	１２月８日～１２月９日	４名
九　　州	長崎県	９月１日～９月２日	１３名
合　　計			６１名

④子ども会安全啓発上級指導者養成講習会

実施せず。

⑤各県市子連での安全普及啓発活動の推進のために、５地区３８県市子連に安全普及啓発活動助成金を各１０万円限度に交付した。

県・市・地区	活　動　名
北海道	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	子ども会安全啓発指導者養成講習会 （十勝地区地域子ども会育成者研究協議会）
岩手県	平成 30 年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	川の楽校「大雨に備える！！防災教室」
	平成 30 年度岩手県子ども会育成研究大会
	平成 30 年度金ヶ崎町子ども会親善ドッジビーケガ防止講習会&交流会
宮城県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
山形県	安全普及啓発活動関係資料配布
	安全普及啓発活動関係資料配布
福島県	平成 30 年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
茨城県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	平成 30 年度　安全啓発研修会（高校生連絡協議会）
	平成 30 年度　安全啓発講習会（基幹指導者養成講習会）
	中高生のための安全啓発研修会
栃木県	平成 30 年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	①安全啓発中級講師研修　②ケガ防止対策指導者講習会　③その他
埼玉県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
千葉県	安全啓発初級指導者養成講習会
神奈川県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	湯河原町子ども会育成者研修会
	ぼうさい探検隊指導者養成講習会
横浜市	SNSの危険性とスマホの正しい使い方講座

川崎市	シニアリーダー　指定都市子ども会JL川崎大会に向けて KYT初級講座受講
	安全教育研修会
新潟県	子ども交流会（防災教育推進事業）
富山県	広域圏安全教育（KYT等）推進事業(県内6箇所)
	指導員研鑽会　防災ワークショップ
福井県	子ども会安全啓発（KYT)初級指導者養成講習会
長野県	平成30年度安全普及啓発活動
岐阜県	安全普及啓発活動（KYT初級指導者養成講習会）
静岡県	安全教育指導者養成研修会
愛知県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
名古屋市	平成30年度安全講習会
三重県	交通安全教室
滋賀県	平成30年度滋賀県子ども会安全教育研修大会
大阪府	平成30年度安全教育推進研究会　共済事業
	平成30年度大阪府こども会大会　ドッヂビーの指導者（補佐）の研修会　共済事業
兵庫県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
和歌山県	安全普及啓発活動
鳥取県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	『まなぼうさい』配布事業（各市町村子連）
島根県	ジュニア・リーダー冬季安全普及啓発活動研修会・安全啓発初級指導者養成講習会
	H30年度　JL春季安全啓発普及研修会　春の防災研修会
徳島県	危険予知トレーニング指導者養成講習会
香川県	市子連安全活動推進事業「KYT登山」
大阪市	安全普及啓発講習会
松山市	2018年度指導者養成講習会子どもの体験活動における「ケガ防止対策」松山市会場
高知県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
福岡県	平成30年度子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	平成30年度子ども会安全啓発認定指導者研修会
北九州市	2018年度　指導者養成講習会　子どもの体験活動における「ケガ防止対策」熊本市会場
	平成30年度　北九州市子ども会連合会　理事研修会
佐賀県	平成30年度第1回安全啓発初級指導者養成講習会
長崎県	長崎県子ども会安全啓発初級指導者養成講習会　打合せ会
	長崎県子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
	第30回記念”少年の船壱岐”
	長崎県子ども会安全啓発初級指導者養成講習会　事前打合せ会
	夏休み野外活動講習会

	第８回諫早市子ども会リーダー育成者研修会
	ラダーゲッター大会
	KYT研修講座
鹿児島県	安全啓発初級指導者養成講習会
沖縄県	子ども会安全啓発初級指導者養成講習会
東北地区	平成 30 年度　子ども会安全啓発中級指導者養成講習会
関東甲信越静地区	平成 30 年度　関東甲信越静地区子ども会 安全啓発中級指導者養成講習会
東海北陸地区	子ども会安全啓発中級指導者養成講習会
中国・四国地区	子ども会安全啓発中級指導者養成講習会
九州地区	安全啓発中級指導者養成講習会

（８）今後の課題

①共済契約者の保護、法令に遵守した健全な運営が求められ、リスク管理の重要性を十分に把握し、さらなる内部管理の強化を今後も継続して進める。

②財務の健全性を保つため、引き続き被共済者の増加促進運動の展開、募集のための費用の見直しや改善、支払事務体制の改善を継続して進める。

③業務委託先である都道府県・指定都市子連との連携を強化し、リスクの共有により事故軽減のための安全普及啓発運動の展開を推進していく。

④事故に占める割合がスポーツ事故が大きく、その軽減が重要である。

⑤共済金の支払い率の格差の是正が重要である。

＜その他＞

（１）事務担当者会議

①平成３０年度事務担当者研修

北海道：２６名。平成３０年４月１１日午後　札幌市。１２日午前　北海道。

東北（仙台市）：２０名。平成３０年４月１３日　１３時～１６時。

関東甲信越静（全子連ビル）：２５名。平成３０年４月１６日。１３時～１６時。

東海・北陸（愛知県）：１８名。平成３０年４月１８日。１３時３０分～１６時３０分。

近畿（和歌山県）：１５名。平成３０年４月２４日。１３時～１６時。

中国・四国（岡山県）：１８名。平成３０年４月１２日。１３時～１６時。

九州（福岡県）：２３名。平成３０年４月１４日。９時～１２時。

政令指定都市（名古屋）：１０名。平成３０年４月２６日。１３時３０分～１６時３０分。

内　　容：

１．「PTA等共済法に基づく子ども会の共済事業について」

２．全子連事業の業務事務について

３．安全共済会の運営について

４．安全普及啓発活動について

（２）傷害保険等の契約

①傷害（ＮＰＯ）保険 ―――――――― 各県（政令市）子連事務局の有給職員を対象

・加入者数　156 人
・支払保険金　0 件
・申請中　1 件

②ボランティア活動保険（たんぽぽ） ――― 地域子ども会の育成者・指導者等、無償ボランティアを対象

・加入者数　5,742 人
・支払保険金　2 件
・請求待ち　1 件
・治療中　0 件

Ⅱ　収益事業

1　全子連ビル管理・賃貸事業

（１） 賃貸事業

① ＮＰＯ法人東京都子ども会連合会賃貸収入　１，１９２，３２０円／年
② 貸し会議室賃貸収入　０円

（２） ビル管理事業

① エレベーター保守点検費用　２３３，２８０円／年
② 警備費用　１４９，０４０円／年

（３） ビルの建替工事資金と大規模修繕工事費用の積立

① 建替準備資産	当年度繰入	１，６４６，２６０円
	当年度末	２３，０４８，０９０円
② 大規模修繕準備資産	当年度繰入	２，８１０，０００円
	当年度末	０円

（４） 全国子ども会ビル　改修工事（大規模修繕）

期　間　平成 30 年 8 月 10 日～平成 30 年 10 月 26 日
総費用　20,196,000 円（税込み）　大規模修繕準備資産 2000 万円を取り崩す

Ⅲ　法人の運営について

1.組織、事務局執行体制の整備と強化

１） 共済業務は３人の専門職員により正確で効率的に事務処理をした。
事務局長退職により、新年度は組織の整備を進める。

２） ホームページの充実と、システムの活用により県・市子連との情報の共有化を推進した。

２．総会について

期日	出欠	内容	審議結果
定時総会 平成３０年 ５月３０日	出席者 ５９名 委任状 8月分名 欠席者 ０名	１．平成２９年度（平成２９年４月１日から平成３０年３月３１日）事業報告及び収支決算書（計算書類）等の承認の件 ２．平成30年度事業計画及び収支予算書の承認の件 ３．役員(監事)の選任の件 ４．定款改正（役員の定年制度）承認の件 報告事項 （１）監事監査報告 （２）共済金支払状況（平成26年度～29年度）報告	承認 承認 承認 否決

３．理事会について

期　日	出　欠	内　容	審議結果
第１回 平成３０年 ４月２日	出席者 １４名 欠席者 １名 監事 １名 監事 欠席者 １名	1.　臨時総会で取り下げ、継続審議になった定款変更(案)について 2.　第 53 回中央会議･研究大会の開催日程について 3.　平成 30 年度事業計画(案)と予算(案)についての確認 4.　平成 30 年度共済事業審査委員の選任 5.　安全共済会の申込システムについて今後の運営についての承認 6.　磯田元副会長への賠償金の請求に関して、金額の確定について 7.　7 月 14 日～15 日の中央会議･研究大会の運営について 8. 報告事項 (1)子ども会認証マークの承認についての報告 (2)未来委員会について (3)全子連ユースについて (4)スポーツケガ防止講習会について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

第２回 平成３０年 ５月１０日	出席者 １４名 欠席者 １名 監事出席 １名 監事欠席 １名	1.　平成 29 年度事業報告及び収支決算書(計算書類)等の承認 2.　平成 30 年度事業計画及び収支予算書の承認 3.　平成 30 年度定時総会の議題について 4.　定款改正(役員の定年制度) 5.　監事監査報告 6.　報告事項 (1)ミクロネシア諸島自然体験交流事業 (2)子ども会推奨マーク	承認 承認 承認 承認
第３回 平成３０年 ５月３０日	出席者 １３名 欠席者 ２名 監事出席 ２名 監事欠席 ０名	1.　新規会員(5 名)の承認の件 2.　平成 30 年度定時総会の議題について	承認 承認
第４回 平成３０年 ５月３０日	出席者 １５名 欠席者 ０名 出席監事 ２名 欠席監事 ２名	1.　代表理事(会長・定款22条3項)の選定(定款23条3項) 2.　業務執行理事(副会長・定款22条4項)の選定(定款23条3項) 3.　会長の業務執行に係る職務の代行について及び副会長の順序の　決定 4.　全子連事務局長人事について 5.　組織規程の改正について	承認 承認 承認 承認 承認 承認
第５回 平成３０年 ６月２６日	出席者 １３名 欠席者 ２名 監事 ２名 監事 欠席者 ０名	1.　平成 30 年度事業の担当理事の選任について 2. 平成 31 年度事業について 3. 常務理事の処遇について 4. 全子連ビル1階を賃貸することについて 5. 報告事項 (1)第 51 回中央会議・研究大会の運営について (2)子ども会未来委員会について (3)全子連ユースについて (4)ケガ防止対策指導者養成講習会について	承認 承認 承認 承認 承認

文書稟議 平成３０年 ７月９日	文書稟議	1. 寄付金の募集について 平成 30 年 7 月西日本豪雨被害緊急寄付金を募集する	承認
第６回 平成３０年 ９月１３日	出席者 １４名 欠席者 １名 監事出席者 ２名 監事欠席者 ０名	1.　平成 31 年度の主要事業について 2. 災害救援募金について 3. 会長会議について 4. コンプライアンス委員の選任について 5. ソフトバンク社との連携について 6. 単位子ども会共済加入システム化について 7. 安全共済会運営の手引き作成について 8. 報告事項 (1)代表理事・業務執行理事の職務執行状況について (2)元副会長磯田氏からの謝罪金について (3)全子連ビルの修繕工事について (4)平成 30 年度第 52 回中央会議・研究大会について (5)平成 31 年度第 53 回中央会議・研究大会について (6)子ども会安全啓発上級指導者の扱いについて	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
第７回 平成３０年 １２月１３日	出席者 １３名 欠席者 ２名 監事出席者 ２名 監事欠席者 ０名	1. 2019 年度事業計画について 2. 2019 年度予算について 3. 表彰規程の改定について 4. 全国子ども会ジュニア・リーダー研究集会について 5. 報告事項 (1)西暦表示について (2)全子連ビルの修繕工事の終了について (3)全国シニア・リーダー実態調査について (4)子ども会安全啓発−防災−研修会について (5)子どもの体験活動における「ケガ防止対策」指導者養成講習会について (6)ソフトバンク社との連携事業である「つながる募金」について	承認 承認 承認 承認
第７回 平成３１年 ３月１４日	出席者 １３名 欠席者 ２名	1. 2019 年度事業計画(案)について 2. 2019 年度予算(案)について 3. 2019 年度共済事業審査委員選任について 4. 共済規程改正(案)について 5. 事務局長人事について 6. 安全啓発指導者認定証について	承認 承認 承認 承認 承認 承認

	監事出席者 ２名 監事欠席者 ０名	7. ジュニア･リーダー資格認定証について 8. 中央会議での表彰式について 9. 報告事項 （1）代表理事･業務執行理事の職務執行状況について	承認 承認

４．内部監査の実施

（1） 監査日

平成 30 年 12 月 12 日　16 時～18時

平成 30 年 12 月 13 日　9 時～10 時

（２）内部監査委員

丸山康昭

中山ひろみ

「シニア、ジュニア・リーダーが進める子どもの手による子ども会！」

「保護者の理解と参加で子ども会活動の活性化！」

「子どもたちに残し伝えたい自然と郷土伝統芸能！」

公益社団法人
全国子ども会連合会